

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

漢王朝の創始者となった劉邦は、紀元前195年、都 の未央宮にて没し、長陵と称される陵に埋葬された。長陵は中国陝西省の の北岸にある咸陽原と称される平坦な黄土台地の上に築かれている(西安市西咸新区の秦漢新城区)。現在西安への空の玄関口でもある咸陽国際空港が設置されているこの東西に長く伸びる咸陽原は、前漢諸皇帝の陵墓区域であるばかりでなく、秦王朝の都である咸陽の所在地でもある。咸陽は秦の孝公によって築かれ、戦国の六国を統一した秦王政、すなわち (統一後)によって空前の規模をもつことになった都市である。この咸陽の宮殿区域のすぐ北側に劉邦は自らの陵を造営した。

劉邦は、政の秦王即位の頃に生まれたとされ、家族は当時としては典型的な自由農民層に属していたが、青年時代には農耕生活をきらい、秦王朝の下級警吏である亭長に就いていた。そして、その役目から、咸陽の東に位置する の陵の築造現場へ囚人労働者を護送する任務に就いたが、その途中囚人たちの逃亡を防ぎきれず、ついに独断で彼らを釈放し、みずからは郷里(江蘇省沛県)の山中に隠れ、任侠的な集団の頭目となった。このころ、秦は匈奴との戦争や重税、過酷な強制労働への徴発などで法家的な支配体制に歪みが生じており、 の没したのちに発生した陳勝・呉広の反乱に呼応して劉邦も挙兵することになった。その後、楚の武将であった一族と合流したが、その青年將軍であった と咸陽進攻を競うことになる。結果、劉邦が先に咸陽に入城するが、遅れて到着したものの軍事力に勝る に屈するところとなり、漢中に籠る。しかし、 が名分上擁立した皇帝で楚王の子孫である義帝を殺害したことを機に再び蜂起し、垓下の戦いで を撃ち、前 年、皇帝の位に就いた。中国史の中で最初の平民出身の皇帝である。

皇位に就き漢王朝を創建したとはいえ、秦末の旧貴族と軍事集団が存続しており、異姓や同姓諸侯王に対する分封制と官僚による とを併用する

⑤ を布くなど建国当初の漢王朝の国力は脆弱で政局も不安定であった。規模が巨大で荘厳な宮殿や陵墓を造営することは立国の本を作るために欠くべからざる事業であるとの丞相蕭何の進言を受けるも、このような状況下で巨大な造営工事を執り行うのは国力の消耗を招き社会の安定を欠くことから、自らの挙兵の経験に照らして ア の轍を踏むことを恐れた劉邦は思案に暮れた。けれども結果として、現存する長陵遺址は広大かつ荘厳なもので、辺長780mの方形の陵園をもち、その内に劉邦の皇帝陵とその妻呂雉の皇后陵の黄土で築かれた二つの巨大な墳丘(ともに残高約30m)と多数の建築遺址を有している。では、劉邦は如何にしてこの難題を解決したのであろうか。ここで彼が目をつけたのが秦朝の王宮である咸陽宮の廢墟の傍らという立地であった。 イ は宮殿を焼いたことが『史記』に記されるが、⁽⁷⁾ 広大かつ荘厳な咸陽宮のすべてが焼失したとはいえず、その廢墟には利用可能な多くの建築材料が残存しており、陵を建造するに十分な資材が調達できて運送の費用も抑えられることから財政負担の軽減に有効であった。また、咸陽宮址と漢都の ① とは ② を挟んで南北に位置することから、両者を結ぶ橋を建設することで、 ① の宮殿の造営にも建築資材の搬入が可能となった。宮殿の廢材を再利用するというエコロジカルな方法で劉邦は財政的な課題を克服したのである。

長陵の陵園の北側には長陵邑と称される県級の行政規模を有する都市を併設していた。この都市の造営は、陵墓の保護と都の北側の防備を目的に設けられたものであり、 ア の陵墓造営に際して設けられたものがその先例となっている。このころ、⁽⁸⁾ 北の草原地帯には遊牧民族である匈奴が⁽⁹⁾ 侵攻を繰り返していた。統一を成し遂げた秦は、みずからの長城のほか戦国期の趙・ ウ などの長城を修築するとともに蒙恬を派遣するなど強固な防衛線を築いていたが、 ア が没したのちの混乱の中で秦の北方防衛線は壊滅していた。この北からの脅威への備えとするため、そして地方にくすぶる戦国旧貴族の勢力と軍事集団の脅威を消し去り、関中と称される ① のある地域の人材資源の充実と経済成長をうながすための布石として、長陵の造営はまさに漢建国当初の政治・経済・軍事が緻密につながる状況のなかで ア の轍を踏まないよう艱難辛苦の末に実施された一大事業であった。劉邦の死後、漢は献帝が曹丕に禪譲する

世界史

まで約 年(途中一時王莽による新を挟むが)という長期政権を営み、東アジアの歴史に多大な影響を与えることになるのである。

問1 文中の空欄 ~ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| a 200 | b 202 | c 220 | d 221 |
| e 300 | f 400 | g 500 | h 安陽 |
| i 渭水 | j 郡県制 | k 郡国制 | l 黄河 |
| m 黒龍江 | n 長安 | o 長江 | p 封建制 |
| q 洛陽 | r 律令制 | s 臨安 | |

問2 文中の空欄 ~ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| a 燕 | b 王羲之 | c 韓非 | d 項羽 |
| e 光武帝 | f 始皇帝 | g 隋 | h 鄒衍 |
| i 宋 | j 陳 | k 武帝 | l 文帝 |
| m 李淵 | n 劉備 | | |

問3 下線部(1)について、孝公のもとで は法家思想にもとづいて様々な改革(変法)を行った。 に入る適切な語句を答えよ。

問4 下線部(2)について、六国が同盟して秦に対抗するという 策を説いた縦横家が である。 ・ に入る組み合わせとして適切なものを以下の a ~ d の中から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|-----------|
| a 連衡 - 蘇秦 | b 合従 - 張儀 |
| c 合従 - 蘇秦 | d 連衡 - 張儀 |

問5 下線部(3)について、秦は李斯のもとで法家思想による中央集権化の政策を強力に推進した。以下の中で、その政策に入らないものはいくつあるか。その個数を解答欄にマークせよ。

- a 塩・鉄専売の実施
- b 貨幣の統一
- c 均田制の施行
- d 均輸・平準という経済政策の実施
- e 文字(小篆)・度量衡の統一

問6 下線部(4)について、「 いくんぞ種あらんや」とは、陳勝が反乱を起こす際に述べた言葉であり、戦国の下剋上の気風を示している。
 に入る適切な語句を答えよ。

問7 下線部(5)について、楚の屈原らの韻文をおさめた作品集の名称を答えよ。

問8 下線部(6)について、前漢景帝のとき、諸侯王の領土削減政策に反発して劉氏諸侯王国が起こした反乱を何というか。その名称を答えよ。

問9 下線部(7)について、紀伝体と称される形式で記述された『史記』は本紀・表・書・世家・ によって構成される。 に入る適切な語句を答えよ。

問10 下線部(8)について、秦は北に加え南の南越方面にも遠征し3つの郡を設置した。このうち、現在の広東省にあたる地域におかれた郡の名称を答えよ。

問11 下線部(9)について、漢が成立したころ、匈奴にも全盛期を築く単于が登場した。その単于の名を答えよ。

世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

476年、西ローマ帝国は皇帝ロムルス＝アウグストゥルスが傭兵隊長 A により退位させられたことをもって、終焉を迎えた。しかしながら、帝国の弱体化はそれ以前からすでに進んでおり、4世紀後半以降帝国領内へ大規模な移動を展開するゲルマン人がもたらした混乱⁽¹⁾は、帝国を衰退へ導いた諸原因の一つと考えられる。その一方で彼らは、来る時代の西欧世界の形成に重要な役割を担う存在ともなる。なかでも注目に値するのは、ライン川東岸よりガリア北部に勢力を拡大したフランク人の動向である。

フランク人の起源についてはつまびらかでない部分も多いが、多数のゲルマン人小部族が離合集散して生み出された部族集団であると推測されている。最終的には5世紀の末、メロヴィング家の B がフランク人の統一を成し遂げる。彼は、積極的な対外征服を展開して支配圏を拡大したばかりでなく、自身の信仰⁽²⁾を改めることによりローマ＝カトリック教会およびローマ人貴族と結び、フランク王国が西欧世界における中核勢力となる基礎を成したことで知られる。

511年、B が没すると、4人の息子たちが王国を分割相続した。分割相続はフランク人の慣習であったとされるが、状況次第で王国の分裂や内紛を引き起こすこととなり、その角逐のなかでアウストラシア、ネウストリア、ブルグンドという三分王国体制の枠組みが出来上がっていった。各分王国には C と称される宮廷の最高職が置かれ、やがて国家運営の実権を握るようになる。そうしたなか、アウストラシア分王国でこの役職を担っていた中ピピン(ピピン2世)の主導下、フランク王国は再度の統一を実現するのである。さらに、彼の後継者となった息子のカール＝マルテルは、離反した諸地域・諸部族の討伐と統合を進めるとともに、732年にはイベリア半島から北上してきたウマイヤ朝の軍勢を撃破⁽³⁾し、以後のイスラーム勢力による侵略に対して大きな抑止力をもたらした。

かくして、フランク王国最大の実力者として、カール＝マルテルの地位は揺るぎないものとなった。そして彼が死去した後の751年、息子である小ピピン(ピピン3世)は、旧来のメロヴィング家による王朝を廃絶し、ついに自らが王位に就

くに至る。ここにおいてカロリング朝フランク王国が創建され、ローマ=カトリック教会との連携⁽⁴⁾をより一層深めながら、東方のビザンツ帝国とは異なる独自の西欧中世世界を形づくっていくこととなる。

800年のクリスマスの日には、その過程を象徴する出来事が生じる。小ピピンの後を継いで王となったカール大帝(シャルルマーニュ)に対し、教皇がローマ帝国の帝冠を授けた⁽⁵⁾のである。もちろん、教皇がカールを戴冠の対象としたことは、彼の威勢と権威を勘案しての選択であったといえるだろう。カールは、絶え間ない⁽⁶⁾対外戦争により旧西ローマ世界の主要部分を勢力下に収め、広大な支配域を統治するための様々な仕組みを整備して、フランク王国の最盛期を現出した王であった。また、文化的側面に目を向けても、彼の治世には、イギリス出身の神学者 D をはじめとする多数の学者たちが宮廷に集まり、カロリング=ルネサンス⁽⁷⁾と呼ばれる文芸の復興運動が高まりをみせている。

けれども、カール大帝の孫たちの代になるや、王国の相続をめぐって内紛が生じることとなる。彼らは、争いにより王国の存続自体が脅かされることを恐れ、842年に和平を取り結んだが、それに伴って王国を分割する方針にも合意した。結果として、翌843年に締結された条約により、王国の東部(東フランク)を a が、西部(西フランク)を b が、イタリアを含む中間部(中部フランク)を c が獲得した。さらに、855年に中部フランクの王が死去すると、彼の3人の息子たちが同地を分割して相続することとなり、事態はさらに複雑化していく。結局のところ、870年に結ばれた E 条約により、中部フランクの北部が東・西フランクによって分割・併合され、南部はイタリア王国として存立するかたちとなった。その後まもなくして、各王国におけるカロリング家の血筋は断絶の時を迎える⁽⁸⁾が、以上のような路をたどって出来上がった三王国は、後のドイツ、フランス、イタリアの原形を成すのである。従って、この意味においても、フランク人は西欧世界の形成に重要な役割を担う存在であったということができよう。

世界史

問1 下線部(1)に関連して、帝国領内に移動したゲルマン人に関する記述として適切でないものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 西ゴート人はアラリックの下でローマを略奪した。
- イ ヴァンダル人は北アフリカに移動して王国を建てた。
- ウ アングロ＝サクソン人は大ブリテン島に移動して王国を建てた。
- エ フン人はアッティラの下でパンノニアに広大な勢力圏を築いた。

問2 下線部(2)に関連して、この改宗に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 改宗を勧めたのはベネディクトゥスであった。
- イ 改宗後の宗派はエフェソス公会議ではじめて正統とされた。
- ウ 改宗後の宗派は父なる神と子なるイエスを同質と主張した。
- エ 改宗を受け、ローマ＝カトリック教会はゲルマン人への布教活動を終了した。

問3 下線部(3)に関連して、この戦いの名称として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア タラス河畔の戦い
- イ カタラウヌムの戦い
- ウ ニハーヴァンドの戦い
- エ トゥール・ポワティエ間の戦い

世界史

問7 下線部(7)に関連して、カロリング＝ルネサンスに関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 古典作品の写本製作がさかんに行われた。

イ アルファベットの太文字体が発明され、字体の統一が進んだ。

ウ カール大帝のスペイン遠征を題材に、武勲詩『ローランの歌』が完成された。

エ 古典作品への理解を深めるため、ラテン語以上にギリシア語が重んじられた。

問8 下線部(8)に関連して、カロリング朝断絶後の東フランクの地に関する記述として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ユーグ＝カペーがカペー朝を創始した。

イ オットー1世がザクセン朝を創始した。

ウ 王は選挙により選出されるようになった。

エ 歴代の王たちのうち唯一ローマ帝国の帝冠を戴いたのはオットー1世である。

問9 空欄 ～ に入る語句の最も適切な組み合わせを、ア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア a ルートヴィヒ2世 b ロタール1世 c シャルル2世

イ a ルートヴィヒ2世 b シャルル2世 c ロタール1世

ウ a シャルル2世 b ロタール1世 c ルートヴィヒ2世

エ a ロタール1世 b ルートヴィヒ2世 c シャルル2世

問10 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問11 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問12 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問13 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問14 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

世界史

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の間いに答えよ。

19世紀後半以降、既存の政治体制の刷新をめざす革命運動や、帝国支配に抵抗する民族運動が、世界各地で勢いを増した。これらの運動は、各地の事情にあわせて多様なかたちをとったが、同時に、グローバルな広がりをもつものでもあった。以下では、20世紀前半の革命運動と民族運動の展開を、地域をこえるつながりに注目しながらみていこう。

20世紀初頭における革命運動や民族運動のおもな担い手は知識人であり、海外を拠点に活動する者も多かった。当時、アジアの活動家たちの一大拠点となっていたのは、日本だった。この時期に日本で清朝の打倒をめざす運動に取り組んでいたのが、⁽¹⁾孫文である。1894年に で興中会を設立した孫文は、亡命先の東京で1905年に中国同盟会を結成した。彼の活動は多くの日本人から支援を受けたが、支持者のなかにはのちに五・一五事件で殺害される も含まれていた。中国同盟会結成の翌年には、 が日本の地を踏んだ。彼は1907年から東京振武学校で学び、卒業後は一時日本陸軍で勤務した。日本滞在中に孫文の革命思想から影響を受けた は、のちに国民政府を率いて日中戦争をたたかっていくことになる。

植民地の民族運動は、第一次世界大戦期に大きな盛り上がりを見せた。ひとつのきっかけとなったのが、当時のアメリカ大統領 の言動である。1918年の演説で講和の条件と戦後世界の構想について語るなかで、彼は民族の「自決」や植民地問題の公正な調整を訴えた。 自身にアジアやアフリカの植民地支配を否定する意図はなかったが、彼の言葉は植民地の民族主義者たちを鼓舞した。しかし、1919年1月から始まったパリ講和会議では、民族主義者たちの期待に反して、戦勝国の支配体制や利権がほぼそのまま維持されることになった。失望が深まるなかで、現状への不満を訴える抗議運動が世界各地で連鎖的に発生した。まず、同年3月に朝鮮で が起こり、イギリスの保護国となっていたエジプトでは革命が発生した。4月にはインドでアムリットサル事件が⁽³⁾おこり、翌5月には で行われた学生デモを⁽⁴⁾きっかけに中国で五・四運動が発生した。

戦間期の民族運動も、しばしばグローバルなつながりのなかで展開した。この時期の民族運動指導者たちに強い影響を及ぼしたのは、ソ連だった。ロシア革命で実権を握った共産党の下で1919年に結成された (別称は第3インターナショナル、共産主義インターナショナル)は、世界革命を目標に掲げ、各地の反植民地民族運動を支援した。中国では、 の方針に基づき1921年に創設された中国共産党が、1919年に孫文の主導下で結成された中国国民党と協力体制を築いた。⁽⁵⁾ だが、この体制は、1927年に が でおこしたクーデタで共産党を弾圧したことで、瓦解した。いっぽう、外モンゴルでは、ロシア革命の影響を受けて民族運動が高揚し、ソヴィエト赤軍の支援を得た勢力によりモンゴル人民共和国が樹立された。同国で実権を握った は1939年に首相になり、⁽⁶⁾ ノモンハン事件で日本軍とたたかった。

民族運動の指導者のなかには、西洋諸国に長期間滞在し、そこで植民地支配を批判する思想を学びとる者もいた。たとえば、独立後のインドで初代首相に就任した は、宗主国イギリスに留学した経験をもつ。名門パブリックスクールのハロウ校を経てケンブリッジ大学で学び、弁護士資格を得た は、イギリス滞在中に社会主義思想の洗礼を受け、インド帰国後に国民会議派内の急進派として頭角を現した。⁽⁷⁾

革命運動や民族運動をマクロの視点から眺めてみると、これらの運動の広がりや相互関係がみえてくるのである。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|------------|------------------|
| a 犬養毅 | b ウィルソン |
| c サンフランシスコ | d 上海 |
| e 重慶 | f 高橋是清 |
| g チョイバルサン | h 南京 |
| i ハワイ | j フランクリン＝ローズヴェルト |
| k 北京 | l レザー＝ハーン |

世界史

問2 下線部(1)に関連して、20世紀初頭の日本は、アジアの革命家や民族主義者が多く集まる政治運動の拠点となったが、その背景に関する記述として最も適切だと考えられるものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 近代化を推し進め、日露戦争に勝利した日本が、西洋の強国と並ぶ存在として注目されるようになったため。
- b 石橋湛山が「小日本主義」を唱え、植民地支配を批判する言論活動を行っていたため。
- c 日本がドイツやイタリアと結び、イギリスやアメリカなどと対抗しようとしていたため。
- d 「大東亜共栄圏」のスローガンの下で、日本が白人諸国による植民地支配の打破を訴えていたため。

問3 下線部(2)に関連して、中国同盟会が基本原則とした三民主義の内容にあてはまらないものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 民族主義 b 民本主義 c 民権主義 d 民生主義

問4 下線部(3)に関連して、以下の にあてはまる語を解答欄に記入せよ。

エジプトの1919年革命を主導した 党は、パリ講和会議にエジプト独立交渉のための独自の代表団を送ろうとする運動が盛り上がりを見せるなか、サアド＝ザグルール⁽¹⁾の指導下に結成された。 は、「代表団」の意味である。

問5 下線部(4)に関連して、アムリットサル事件とこの事件がおこった時代のインドに関する記述として誤っているものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 第一次世界大戦中にイギリスはインドに戦後の自治を約束したが、1919年に制定されたインド統治法は州が所管する事項の一部をインド人に委ねるだけの内容だった。
- b インドでの反英運動弾圧のために1919年に発布されたローラット法は、逮捕状なしの逮捕や裁判手続きなしの投獄を認める内容だった。
- c アムリットサル事件は、ベンガル分割令の撤回を求めたインド人の抗議集会に、イギリス軍が発砲して多くの死傷者を出した出来事である。
- d アムリットサル事件は、パンジャブ州でおこった。

問6 下線部(5)に関連して、中国共産党の初代委員長の名前を以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 毛沢東 b 陳独秀 c 胡適 d 李大釗

問7 下線部(6)に関連して、ノモンハン事件がおこった1930年代の日本に関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a シーメンス事件が発覚して山本権兵衛内閣が退陣した。
- b 満25歳以上の男性に納税資格に関係なく選挙権を与える普通選挙法が成立した。
- c 関東軍が主導して張作霖爆殺事件をおこした。
- d 天皇機関説事件をきっかけに岡田啓介内閣が国体明徴声明を出した。

世界史

問8 下線部(7)に関連して、1930年代のイギリスに関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a アトリ-労働党政権のもとで、重要産業の国有化や社会福祉制度の充実がはかられた。
- b 第5回選挙法改正により、21歳以上の女性にも選挙権を認めることで、普通選挙が実現した。
- c アイルランド独立戦争の結果、アイルランド自由国の樹立を認めた。
- d ネヴィル=チェンバレン首相のもとで、外交面でドイツに譲歩する宥和政策がとられた。

問9 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問10 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問11 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。

問12 空欄 に入る最も適切な語句を解答欄に記入せよ。